第 29 回 支部総会資料

2021 年 5 月 24 日（月）

オンライン（ZOOM）開催

公益社団法人 日本コンクリート工学会

近　畿　支　部

目 次

1. 2020 年度 事業報告および収支決算について …… 2

2. 2021 年度 事業計画および収支予算について …… 9

3. 支部執行部の体制について …… 12

4. 2020 年度表彰について …… 14

5. 業務委託契約更新について …… 15

6. 支部会員数の推移について …… 18

7. 本部からの報告について …… 19

1.　2020 年度 事業報告および収支決算について

事　業　報　告

（2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日）

新型コロナウイルス感染症の感染および拡大防止から支部会員を対象に計画していた支部総会や講演会、セミナー、見学会等の行事を中止した。一方、支部執行委員会、総務委員会、広報行事委員会、調査研究委員会はいずれもオンラインによって委員会を開催し、このような状況下での新たな生活様式に合致した支部の事業の進め方等に関して議論を行ってきた。

(1) 執行委員会

1) 第 1 回

開 催 日：2020 年 8 月 27 日（木）

場　　所：オンライン開催（Zoom）

出 席 者：44 名

主な内容：2020 年度事業計画の見直し、支部幹事および支部執行委員の交代 他

2) 第 2 回

開 催 日：2020 年 12 月 7 日（月）

場　　所：オンライン開催（Zoom）

出 席 者：48 名

主な内容：支部執行部候補者推薦委員会の改選、支部執行部改選の進め方 他

3) 第 3 回

開 催 日：2021 年 3 月 10 日（水）

場　　所：オンライン開催（Zoom）

出 席 者：42 名

主な内容：支部執行委員の選定、支部奨励賞の選考、事業計画および収支予算 他

(2) 支部幹部・顧問合同会議

開 催 日：2020 年 11 月 20 日（金）

場　　所：オンライン開催（Zoom）

出 席 者：13 名

主な内容：支部長、副支部長、支部担当理事、検査役の改選 他

(3) 支部総会

2020 年 5 月 29 日に大阪科学技術センターにて開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

※ 支部総会資料は支部ホームページに掲載

(4) 支部奨励賞表彰式

2020 年 5 月 29 日に大阪科学技術センターにて表彰式を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

※ 奨励賞の受賞者 3 名には賞状と記念品を郵送

(5) 講演会およびセミナー

1) 特別講演会

2020 年 5 月 29 日に大阪科学技術センターにて特別講演会を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2) 親子対象体験教室「第 2 回コンクリートっておもしろい」(支部設立 25 周年記念事業)

2020 年 9 月 26 日に大阪市立科学館にて開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(6) 見学会

1) 会員対象現場見学会

2020 年 7 月にダムを対象とした見学会を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2) 市民（親子）対象現場見学会

2020 年 11 月に見学会を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(7) 研究専門委員会等

1) 銅スラグ細骨材の土木用コンクリートへの適用に関する研究専門委員会（2015 年度公募）

委 員 長：鶴田浩章（関西大学）

活動期間：2016年度～2018年度の3年間（2018年度は延長期間）

委 員 数：19名

成果報告会：2021年3月31日（オンライン）、参加者；82名

2) コンクリート試験の省力化に関する検討委員会（2018年度公募）

委 員 長：武田字浦（明石工業高等専門学校）

活動期間：2019年度～2021年度の3年間（2021年度は延長期間）

委 員 数：25名

幹 事 会：2020年 7月13日 5名出席（対面）

2021年 2月26日 5名出席（対面・オンライン併用）

委 員 会：2020年 9月17日 21名出席（対面・オンライン併用）

2021年 3月15日 23名出席（対面・オンライン併用）

ＷＧ活 動：2020年 6月29日 7名出席（載荷試験、対面）

2020年 6月30日 4名出席（載荷試験、対面）

2021年 3月24日（水）、25日（木）（載荷試験、対面）

活動内容：骨材試験の省力化に向けたシステムの検討、生コンの製品検査における試料減量化に向けた試験、硬化コンクリート試験用供試体の小型化に向けた試験、生コン工場における骨材品質管理工程に関するアンケート調査を、それぞれ実施した。

3) 高流動性コンクリートの実用化促進に関する研究委員会（2018年度公募）

委 員 長：中川隆夫（大阪兵庫生コンクリート工業組合）

活動期間：2019年度、2020年度の2年間

委 員 数：27名

幹 事 会：2021年 2月22日 5名出席（対面・オンライン併用）

活動実績：2020 年度に計画していた分離抵抗性評価のための追加実験、実大模擬部材による構造体での品質評価実験をコロナ禍の影響により中止した。これまでの取組みを 2021 年度に報告書として整理し、同年度内に研究委員会成果報告会を実施する。

4) 百石斎（田邉朔郎書斎）調査WG（支部設立30周年記念行事）

ＷＧ 長 ：岸本一蔵（近畿大学）

活動期間：2020年度（1年間）

委 員 数：15名

WG活動：2020年 8月 4日 13名出席（オンライン）

2020年 9月 9日 13名出席（オンライン）

2020年10月21日 13名出席（オンライン）

2020年12月 7日 12名出席（オンライン）

2021年 2月24日 13名出席（オンライン）

見学会等：2020年 8月24日 12名出席（百石斎見学）

2020年11月 6日 9名出席（百石斎修繕の工務店へのヒアリング等）

活動実績：百石斎の歴史的技術的価値を明らかにするとともに、将来にわたって健全な状態で継承していくことの検討を行い、得られた成果を広く社会に公表するための研究専門委員会設置に先立ち、事前調査を行うためにWGを設置した。WGでは、百石斎に係わる資料調査、建物を構成する材料調査や健全度評価、建物構造調査や耐震診断、歴史遺産としての利活用のあり方などについて、検討すべき項目を抽出することを目的に活動を行った。

(8) 他学協会等との連携

1) 第 34 回コンクリート構造物の設計・施工・維持管理の基本に関する研修会（土木学会関西支部主催、当支部後援）

開 催 日：2020 年 9 月 3 日（木）、4 日（金）

場　　所：オンライン開催

2) コンクリート技術者のための表面被覆材料講習会（日本材料学会関西支部主催、当支部協賛）

開 催 日：2020 年 10 月 14 日（水）

場　　所：オンライン開催

3) セメント・コンクリート関西発表会 2020（コンクリート研究会主催、当支部後援）

開 催 日：2020 年 12 月 8 日（火）

場　　所：オンライン開催

4) 第 17 回圧送技術研究会（日本建築学会近畿支部材料・施工部会主催、当支部後援）

開 催 日：2021 年 2 月 24 日（水）

場　　所：大阪工業大学 梅田キャンパス 常翔ホール、Web 同時配信

(9) 収支決算

1) 貸借対照表

2021 年 3 月 31 日現在

（単位：円）

借　　方		貸　　方	
科　　目	金　額	科　　目	金　額
資　　産		負　　債	
Ⅰ 流 動 資 産		Ⅰ 流 動 負 債	
1. 現　　金		1. 預　か　り　金	
2. 普　通　預　金	6,737,922	2. 未　　払　　金	
3. 当　座　預　金			
4. 定　期　預　金			
5. 未　　収　　金		資　　本	
6. 本 部 預 け 金	1,000,000	Ⅰ 出　資　金	
		Ⅱ 剰　余　金	
		1. 前 期 繰 越 損 益	8,058,389
		2. 当　期　損　益	- 320,467
計	7,737,922	計	7,737.922

2) 2020 年度 一般正味財産増減計算書

2020年4月1日から2021年3月31日

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増減
1.　収入の部			
（1）　事業収益			
1）　講演会等収益（見学会含む）	2,000	18,000	-16,000
事業収入計	2,000	18,000	-16,000
（2）　その他収益			
2）　受取利息	79	82	-3
3）　懇親会参加費収益	0	612,000	-612,000
5）　年次大会還元金	0	8,670,000	-8,670,000
6）　本部よりの交付金	1,922,720	1,952,200	-29,480
その他収益計	1,922,799	11,234,282	-9,311,483
合　　計(A)	1,924,799	11,252,282	-9,327,483
2.　支出の部			
（1）　事業費			
1）　調査研究事業費	1,035,618	953,193	82,425
2）　広報事業費	127,670	2,257,146	-2,129,476
3）　講演会等事業費（見学会含む）	85,370	212,365	-126,995
4）　表彰事業費	49,731	0	49,731
5）　その他費用	0	0	0
事業費計(a)	1,298,389	3,422,704	-2,124,315
（2）　管理費			
1）　総会費	53,075	558,067	-504,992
2）　執行委員会費	14,140	276,544	-262,404
3）　事務委託費	660,000	654,000	6,000
4）　旅費交通費	0	0	0
5）　通信費	76,167	79,908	-3,741
6）　消耗品費	1,705	17,701	-15,996
7）　借室料	132,000	130,800	1,200
8）　手数料	9,790	19,224	-9,434
9）　その他雑費	0	0	0
管理費合計(b)	946,877	1,736,244	-789,367
経常費用合計(B=a+b)	2,245,266	5,158,948	-2,913,682
当期正味財産増減額(C=A-B)	-320,467	6,093,334	-6,413,801
正味財産期首残高(D)	8,058,389	1,965,055	6,093,334
正味財産期末残高(C+D)	7,737,922	8,058,389	-320,467

3) 監査報告書

令和３年４月 16 日

公益社団法人日本コンクリート工学会
会長　二羽　淳一郎　殿

内部監査報告書

令和２年４月１日から令和３年３月 31 日までの令和２年度における会計および業務の監査を行い、適切に執行されていることを認めます。

以上

公益社団法人日本コンクリート工学会 近畿支部
検査役 河野広隆

2.　2021 年度 事業計画および収支予算について

事　業　計　画

（2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日）

新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが不明確な状況であるが、感染、拡大防止を図りながら支部の活性化に向けて各委員会（総務、広報行事、調査研究）が積極的に活動を推進させるとともに、オンラインを活用した支部会員への取り組みを行うこととする。

(1) 執行委員会

年 4 回（5 月、7 月、12 月、2 月）実施予定

(2) 顧問・幹部合同会議

11 月実施予定

(3) 支部総会

開 催 日：2021 年 5 月 24 日（月）

場　　所：オンライン開催（ZOOM）

(4) 支部奨励賞表彰式

開 催 日：2021 年 5 月 24 日（月）

場　　所：オンライン開催（ZOOM）

表彰人数：4 名

(5) 講演会およびセミナー

1) 特別講演会

開 催 日：2021 年 5 月 24 日（月）

場　　所：オンライン開催（ZOOM）

講演題目：「スタジアム建築におけるプレキャストコンクリート架構の施工実例について」

講 演 者：井上 崇 氏（㈱竹中工務店）

2) オンライン企画「コンクリート教室」

開 催 日：2021 年 8 月（予定）

場　　所：オンライン開催

内　　容：検討中

3) オンライン企画「コンクリートと私」座談会

開 催 日：2021 年 11 月（予定）

場　　所：オンライン開催

内　　容：検討中

(6) 研究専門委員会等

1) コンクリート試験の省力化に関する検討委員会（2018年度公募）

委 員 長：武田字浦（明石工業高等専門学校）

活動期間：2019年度～2021年度の3年間（2021年度は延長期間）

委 員 数：25名

活動計画：骨材試験の省力化に向けたシステムの検討、生コンの製品検査における試料減量化に向けた試験、硬化コンクリート試験用供試体の小型化に向けた試験、生コン工場における骨材品質管理工程に関するアンケート調査を引続き実施する。2021年度後半では、これまでの活動内容を活動報告書として取りまとめる。

成果報告会：2021年3月（対面もしくはオンラインにて開催）（予定）

2) 高流動性コンクリートの実用化促進に関する研究委員会（2018年度公募）

委 員 長：中川隆夫（大阪兵庫生コンクリート工業組合）

活動期間：2019年度、2020年度の2年間

委 員 数：27名

活動計画：これまでの実験および検討結果を報告書に整理する。

成果報告会：2022年10月（対面もしくはオンラインにて開催）（予定）

3) 百石斎調査委員会（支部設立30周年記念行事）

委 員 長：岸本一蔵（近畿大学）

活動期間：2021年度～2023年度の3年間

委 員 数：15名程度

活動計画：百石斎（田邉朔郎書斎）の歴史的技術的価値を明らかにするとともに、将来にわたって健全な状態で継承していくための検討を行い、得られた成果を支部設立30周年記念行事として広く社会に報告する。そのため、百石斎に関わる資料調査、建物を構成する材料調査や健全度評価、建築構造調査や耐震診断、歴史遺産としての利活用のあり方などについて調査を行う。

(7) 表彰事業

公募により支部奨励賞を 3 件程度選考のうえ、表彰事業を実施する。

(8) 収支予算

2021年4月1日から2022年3月31日

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増減
1.　収入の部			
（1）　事業収益			
1)　講演会等収益（見学会含む）	0	0	0
2)　業務援助報酬（技士・主任技士）	0	0	
3)　業務援助報酬（診断士）	0	0	
事業収入計	0	0	0
（2）　その他収益			
1)　受入送料	0	0	0
2)　受取利息	0	0	0
3)　懇親会参加費収益	0	200,000	-200,000
4)　雑収益	0	0	
5)　年次大会還元金	0	0	
6)　本部よりの交付金	2,076,000	1,900,000	176,000
その他収益計	2,076,000	2,100,000	-24,000
合　　計(A)	2,076,000	2,100,000	-24,000
2.　支出の部			
（1）　事業費			
1)　調査研究事業費	950,000	850,000	100,000
2)　広報事業費	410,000	1,110,000	-700,000
3)　講演会等事業費（見学会含む）	200,000	200,000	0
4)　表彰事業費	60,000	60,000	0
5)　その他費用	0	0	0
事業費計(a)	1,620,000	2,220,000	-600,000
（2）　管理費			
1)　総会費	150,000	500,000	-350,000
2)　執行委員会費	70,000	250,000	-180,000
3)　事務委託費	660,000	660,000	0
4)　旅費交通費	15,000	15,000	0
5)　通信費	80,000	80,000	0
6)　消耗品費	20,000	20,000	0
7)　印刷費	0	0	0
8)　水道光熱費	0	0	0
9)　借室料	132,000	132,000	0
10)　手数料	15,000	15,000	0
11)　その他雑費	0	0	0
管理費合計(b)	1,142,000	1,672,000	-530,000
経常費用合計(B=a+b)	2,762,000	3,892,000	-1,130,000
当期正味財産増減額(C=A-B)	-686,000	-1,792,000	1,106,000
正味財産期首残高(D)	7,737,922	8,058,389	-320,467
正味財産期末残高(C+D)	7,051,922	6,266,389	785,533

3.　支部執行部の体制について

支部執行部 51 名のうち任期満了（2021 年 5 月末）に伴う改選の対象者 26 名（支部長 1 名、副支部長 1 名、支部幹事 4 名、支部執行委員 20 名）の他、任期途中で交代する支部幹事 1 名、支部執行委員 2 名の合わせて 29 名が改選の対象になっている。

これらの改選対象者については支部幹部・顧問合同会議での議論を踏まえて支部執行部候補者推薦委員会で候補者を選定し、支部長に答申を行ったうえで支部執行委員会に諮り、次ページに示す体制とした。

(1) 支部長および副支部長

支部長候補者は土木系統から井上晋氏（大阪工業大学教授）を、また副支部長候補者は村田一郎氏（西日本旅客鉄道㈱技術理事）を選定した。

なお、支部長および副支部長は、支部規程第 5 条の定めにより理事会での選任となっており、5 月 25 日に開催される定例理事会において選任される予定である。

(2) 支部幹事および支部執行委員

① 任期満了の支部幹事 4 名および支部執行委員 20 名は全員を再任とした

② 任期途中の支部幹事 1 名は副支部長に、支部執行委員 2 名はそれぞれ支部担当理事、検査役に就任予定である

③ 任期途中の支部幹事 1 名の後任には現副支部長を、支部執行委員 2 名の後任には現支部担当理事と新任者を選任した

（参考）

現支部長を顧問に就任とする。

また、現在 5 名の顧問のうち 3 名を退任（支部の申し合わせ事項の年齢制限による）とする。

<2021年度 支部執行部体制>

役職		氏名	所属	任期		改選内容			備考
				2022.5	2023.5	再任	役職替	交代	
支部執行部	支部長	井上　晋	大阪工業大学		○			○	候補者
	副支部長	村田　一郎	西日本旅客鉄道㈱		○		○		候補者
	支部幹事	岩清水　隆	㈱竹中工務店		○	○			
		大谷　恭弘	神戸大学大学院	○					
		鎌田　敏郎	大阪大学大学院		○	○			
		岸本　一蔵	近畿大学	○			○		
		辻村　隆	㈱バウエンジニアリング	○					
		鶴田　浩章	関西大学		○	○			
		中村　士郎	住友大阪セメント㈱		○	○			
		松本　茂	阪神高速技術㈱	○					
		山本　貴士	京都大学大学院	○					
	支部執行委員	市岡 有香子	(一財)日本建築総合試験所	○					
		伊藤　尚子	大和ハウス工業㈱		○	○			
		今村　りえ	中央復建コンサルタンツ㈱	○					
		上田　清	和歌山県生コンクリート工業組合		○	○			
		大西　俊輔	大阪ガス㈱	○					
		大前　博	大成建設㈱		○	○			
		川崎　佑磨	立命館大学		○	○			
		川瀬　哲生	太平洋セメント㈱		○	○			
		木村　方哉	㈱大林組	○					
		熊野　知司	摂南大学	○				○	
		栗延　正成	大阪広域生コンクリート協同組合		○	○			
		佐伯 奈都美	ジェイアール西日本コンサルタンツ㈱	○					
		坂田　博史	㈱建研	○					
		真田　靖士	大阪大学大学院	○					
		下部　裕司	㈱奥村組	○					
		城井　優季	㈱ダイイチ		○	○			
		高田　良章	㈱フローリック		○	○			
		高森　太郎	清水建設㈱	○					
		高谷　哲	京都大学大学院	○					
		武田　宇浦	明石工業高等専門学校	○					
		田邉　太一	大手前大学		○	○			
		谷　昌典	京都大学大学院		○	○			
		友成　弘樹	㈱IHIインフラ建設	○					
		仲谷　恵美	和泉生コンクリート㈱	○					
		抜木　幸次	㈱中研コンサルタント	○				○	
		橋野　哲郎	㈱ピーエス三菱		○	○			
		橋本　崇志	東洋建設㈱		○	○			
		平岡　信行	宇部三菱セメント㈱		○	○			
		福島　和将	ポゾリスソリューションズ㈱		○	○			
		福本　育央	鹿島建設㈱	○					
		藤原　規雄	㈱国際建設技術研究所		○	○			
		麓　隆行	近畿大学		○	○			
		前田　朗	大阪兵庫生コンクリート工業組合		○	○			
		三方　康弘	大阪工業大学	○					
		三木　朋広	神戸大学大学院	○					
		水野　克彦	三井住友建設㈱	○					
		山田　藍	㈱竹中工務店		○	○			
		山田　宏	大阪産業大学(予定)	○					
		横山　和昭	西日本高速道路㈱		○	○			
		吉田　育央	㈱シーエスインスペクター		○	○			
	合計			25	26	24	2	3	

4.　2020 年度表彰について

総務委員会において「近畿支部奨励賞」の応募スケジュール等を検討のうえ、コンクリート工学会誌に会告を掲載して募集を行い、2020 年 12 月 21 日（月）に締め切ったところ 8 件の応募があった。その後、調査研究委員会において表彰内規および表彰細則に則り、応募資格および審査基準（独創性、萌芽性および将来性）に対する審議を行った。さらに、受賞候補の選考経過ならびに選定理由が支部執行委員会に報告され、4 件の応募者を受賞者とすることが決定した。

受賞者は以下の 4 名である（応募受付順）。

・ 堀 慎一（西日本旅客鉄道㈱）
「山陽新幹線コンクリート構造物の維持管理における新技術の活用に向けた取り組み」
コンクリート工学、Vol.58、No.8、pp.573-580、2020

・ 宮田 佳和（清水建設㈱）
「部材厚が比較的大きいマスコンクリートの温度応力計測と予測ひび割れ幅に関する考察」
コンクリート工学年次論文集、Vol.41、No.1、pp.1223-1228、2019

・ 河合 智樹（㈱竹中工務店）
「鉄筋コンクリート組積造（RM造）建物の設計」
コンクリート工学、Vol.58、No.11、pp.892-897、2020

・ 生田 麻実（明石工業高等専門学校）
「正負交番荷重を受けるプレキャストプレストレストコンクリート柱の接合部条件が耐震性状に与える影響に関する基礎研究」
コンクリート工学年次論文集、Vol.42、No.2、pp.433-438、2020

5.　業務委託契約更新について

業務委託契約書

公益社団法人日本コンクリート工学会近畿支部（以下、「甲」という。）と一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会関西支部（以下、「乙」という。）とは、次の通り業務委託契約を締結する。

第１条（委託業務の内容）

甲は、近畿支部の運営に関する以下の業務（以下、「本件業務」という。）を乙に委託し、乙はこれを受託する。

（１）　支部総会、執行委員会、幹事会、顧問会の開催に関する諸業務（会場の選定・設営、資料の印刷・発送、委嘱状の作成、交通費の支払い事務等を含む。）

（２）　研究委員会、講演会、講習会、見学会等の研究・技術に関連する行事の開催に関する諸業務（会場の選定・設営、資料の印刷・発送、交通費の支払い事務等を含む。）

（３）　支部月次会計報告、会計管理のための準備及び補助業務

（４）　決算報告書、収支予算書及び関連書類の作成のための準備及び補助業務

（５）　その他、甲乙双方協議の上、合意した業務

２　甲は、本件業務の遂行に際し必要があるときは、乙に対し、本件業務の進捗状況などについて報告を求めることができる。

第２条（善管注意義務）

乙は、本件業務を甲の指示に従い善良な管理者の注意をもって行うものとする。

第３条（業務の委託料等）

甲は乙に対し、第１条業務委託料及び事務所等使用料、事務所等使用に伴う水光熱費等の合計額として月額６０，０００円（消費税を別途加算する）を支払うものとする。

２　業務委託料は、４月１日から９月末日までの期間の委託分を１０月末日までに、また１０月１日～３月末日までの期間の委託分を４月末日までに、乙の指定する銀行口座に振込んで支払う。

ただし、コピー代金については、別途定めた金額を上記委託料等の支払のときに、上記金額に加算して支払う。

３　乙が本件業務の遂行にあたり前項の委託料を超える特別の経費を要した場合、事前に甲の承諾を得たときに限り、甲は乙に対し、承諾した範囲の費用を支払うものとする。

第４条（業務の実施）

乙は、自らの責に帰さない事由又は正当な事由により、本契約上の業務の遂行を合意された期間中に完了できないことが判明した場合、直ちに甲にその事由を付して通知し、甲の指示に従わなければならない。また、乙は、正当な事由なく甲の承認を受けずに本契約上の業務を中止することはできない。

第５条（秘密保持）

甲及び乙が本件業務を実施するに当たり知り得た相手方の業務に関する秘密事項は、この契約の有効期限内はもちろん、契約期間終了後も第三者に漏らしてはならない。甲又は乙がこれに違反したことにより相手方が損害を被った場合には、相手方に対し全損害を賠償しなければならない。

第６条（著作権の帰属）

本件業務に係わる著作権は、甲に帰属するものとする。ただし、乙が従前から有していた既存の著作権を利用しているものについては、乙に帰属するものとし、乙は甲に対し無償で利用を許諾するものとする。

第７条（第三者の権利侵害）

乙は、本件業務の遂行過程において甲に提供する業務関連資料が第三者の著作権、肖像権、特許権、及びその他一切の権利を侵害していないことを保証する。

第８条（契約解除）

甲又は乙は、相手方が次の各号の一つに該当したときは、何らの通知催告を要せず、直ちに本契約を解除することができるものとする。

なお、この解除は損害賠償の請求を妨げない。

（1） 本契約に違反したとき

（2） 手形、小切手を不渡りにする等支払停止の状態に陥ったとき

（3） 仮差押え、差押え、仮処分、競売等の申立てを受けたとき

（4） 破産、民事再生、解散等の手続の申立てを受けたとき又は自ら申立てをしたとき

（5） その他各号に類する不信用な事実があるとき

第９条（契約期間）

本契約の有効期間は、令和３年６月１日から令和５年５月３１日までとする。

ただし、期間満了前に両者で協議して合意した条件で本契約を更新することができるものとする。

第１０条（紛争解決）

本契約に規定なき事項又は契約上の疑義については、両当事者間で誠意をもって協議し、解決するものとする。

以上、本契約締結の証として本書２通を作成し、甲乙各１通を保有する。

令和３年４月３０日

甲　住所：大阪府大阪市淀川区西中島６丁目２－３
チサンマンション第７新大阪３０９号
一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会関西支部内

公益社団法人日本コンクリート工学会近畿支部
支部長　永 山　勝

乙　住所：大阪府大阪市淀川区西中島６丁目２－３
チサンマンション第７新大阪３０９号

一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会関西支部
支部長　森 島　修

確 認 書

公益社団法人日本コンクリート工学会近畿支部（以下、「甲」という。）と一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会関西支部（以下、「乙」という。）とは、業務委託契約書締結に際し、相互信頼に基づき次の通り確認する。

第１条（業務の委託料等）

甲が実施する支部活動業務及び甲が委託する運営業務を、それぞれ円滑に遂行するために、甲は乙の了解を得た上で、乙の管理する会議室及び事務機器（机、椅子、コピー機、ＦＡＸ等）を使用できるものとする。これらの使用料は、業務委託契約書第３条に定める委託料等の合計額に含まれるものとする。

２ 業務委託契約書第３条に定めるコピー代金は、コピー用紙およびトナーの実費相当額とする。

ただし、甲がコピー用紙およびトナーを購入の上、持ち込んだ場合は、コピー代金は業務委託契約書第３条に定める委託料の合計額に含まれるものとする。

令和３年４月３０日

甲　住所：大阪府大阪市淀川区西中島６丁目２－３
チサンマンション第７新大阪３０９号
一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会関西支部内

公益社団法人日本コンクリート工学会近畿支部
支部長　永 山　勝

乙　住所：大阪府大阪市淀川区西中島６丁目２－３
チサンマンション第７新大阪３０９号

一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会関西支部
支部長　森 島　修

6.　支部会員数の推移について

年　度	個人会員			団体会員						備考
	正	学生	合計	第1種	第2種				合計	
					1級	2級	3級	4級		
2001（H13）			996						41	近畿支部の記録
2002（H14）			994						51	
2003（H15）			992						36	
2004（H16）										
2005（H17）										
2006（H18）										
2007（H19）										
2008（H20）										
2009（H21）										
2010（H22）			895						36	
2011（H23）	789	22	811	5	0	0	4	27	36	本部照会
2012（H24）	739	38	777	5	0	0	3	30	38	
2013（H25）	710	35	745	5	0	0	3	32	40	
2014（H26）	686	51	737	4	0	0	3	35	42	
2015（H27）	676	47	723	4	0	0	3	36	43	
2016（H28）	711	26	737	5	0	0	3	36	44	
2017（H29）	723	38	761	5	0	0	3	36	44	
2018（H30）	701	51	752	4	0	0	3	39	46	
2019（R1）	724	22	746	4	0	0	3	38	45	
2020（R2）	712	14	726	4	0	0	3	37	44	

※ 2011（H23）年度から2020（R2）年度は、各年度末現在の会員数を示す。

7. 本部からの報告について

定時社員総会に併せて開催された 6 月定例理事会は対面となったが、新型コロナウィルス感染拡大防止のため、以降の定例理事会は全て Web 会議により開催された。支部に関係する事項を中心に以下に記載する。

(1) 6 月定例理事会（令和 2 年 6 月 19 日（金））

・ 新型コロナウィルス拡大防止による各種行事の状況報告が行われた。
・ コンクリート工学年次大会（広島）とコンクリート技術講習会（全国）は中止、コンクリート技士・主任技士試験（全国）実施（11/29）、コンクリート診断士試験（全国）延期（12/20）。なお，コンクリート技士・診断士研修会（全国）とコンクリート診断士研修会（全国）は自己学習と課題提出に変更。

(2) 7 月定例理事会（令和 2 年 7 月 17 日（金））

・ 令和元年度決算において公益認定基準の適合状況（収支相償、公益目的事業費比率および遊休財産額保有制限）の 3 基準のいずれにも適合であることが報告された。
・ コンクリート技士･主任技士研修会の受講申込者数は、13,718 名（対前年比 491 名増）。内訳は、技士 11,138 名（392 増）、主任技士 2,580 名（99 名増）。

(3) 8 月定例理事会（令和 2 年 8 月 25 日（火））

・ 代議員選挙の選挙区別代議員数は定款にもとづき決定された。近畿支部地区は 8 名（補欠者 2 名）。12 月 10 日投票締切り、12 月 23 日開票。

(4) 10 月定例理事会（令和 2 年 10 月 27 日（火））

・ 近畿支部執行委員の異動が承認された。
・ コンクリート技士・主任技士試験受験申込者数は技士 10,251 名，主任技士 3735 名。
・ コンクリート診断士試験受験申込者数は 4832 名。
・ 年次大会 2021（名古屋）はオンラインで開催することが承認された。

(5) 12 月定例理事会（令和 2 年 12 月 25 日（金））

・ 令和 2 年 4 月～令和 2 年 11 月までの会計中間報告があり、その中で中止となった年次大会 2020（広島）の収支も報告された。
・ コンクリート技士・主任技士受験者数は技士 8,149 名，主任技士 2,612 名。
・ 名誉会員、終身会員およびフェロー会員について承認された。

(6) 2 月定例理事会（令和 3 年 2 月 24 日（水））

・ 2021 年度・2022 年度の役員候補者について承認された。
・ 支部交付金・年次大会還元金の変更について承認された。

・ 令和 2 年豪雨で被災された会員に対する会費の免除について承認された。
・ 学会賞受賞候補者について承認された。

(7) 3 月定例理事会（令和 3 年 3 月 25 日（木））

・ 令和 2 年度決算見込みにおいて、コロナ禍による年次大会・講習会の中止または変更、委員会のオンライン化等が主な要因となって支出が減少し大幅な黒字になるが、公益認定基準の 3 基準（収支相償、公益目的事業費比率および遊休財産額保有制限）の達成が厳しい見込みであることが報告された。
・ 令和 3 年度事業計画および予算において、公益目的事業の支出を増加させるための対策として、具体的には助成金事業の増額、ホームページの改訂費用、英文論文集 Advanced Concrete Technology の費用の増額を予算に盛り込み、承認された。公益認定基準の収支相償、公益目的事業費率は達成できる見込み。遊休財産についても削減が図れる見込み。
・ 次年度の各支部の支部長・副支部長・検査役の交替について審議・承認された。